

事務事業名		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																											
政策体系	政策名	0:2: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																											
	施策名	0:8: 生涯にわたる健康づくりの推進		区分																											
	基本事業名	0:2: 地域医療の充実		期間限定複数年度 ※期間欄に計画期間を記入																											
根拠法令		予防接種法、感染症法等		会計 01 04 01 02 0400 項目 01 02 0400																											
所属	部課名	保健福祉部健康推進課		【計画期間】																											
	課長名	藤田 一枝		令和2 年度～ 令和5 年度																											
	係名	庶務係	電話 0192-27-1581	事務事業区分 E 一般																											
	担当者	熊谷 小百合	内線 -																												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
予防接種法の規定に基づき、市が実施主体として医療機関等の協力のもと、新型コロナワクチン接種の体制を確保する。本事務事業では、接種体制を確保するために必要な対応・各種契約等を行う。市が支出した費用は、国庫負担金、補助金または県補助金で財源措置される。 (1)全体調整…医療機関及び高齢者施設等関係機関との調整(集団接種への医師派遣調整、打合せ・情報提供など) (2)相談対応…接種相談窓口を開設(接種に関する問い合わせ、接種券の発行、接種証明書の発行等) (3)各種契約・手配…ワクチンやシリンジ等資機材の適正な管理運用、接種券及び接種案内の作成・印刷・郵送、医療機関へのワクチン配送、予約対応のコールセンター設置及びネット予約システム整備、65歳以上等対象のタクシー助成、個別接種促進交付金等 なお、全額公費負担(自己負担なし)の特例臨時接種は、令和5年度をもって終了となり、令和6年度以降はインフルエンザなどと同時に、高齢者を対象として毎年秋冬に1回の定期接種となる。対象以外の人は、任意接種となる。 ※接種費用の支出に関する事務は、新型コロナウイルスワクチン接種事業に記載				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>116,544</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>3,919</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>24,167</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>144,630</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正社員従事人数</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>7,110</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>28,440</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>173,070</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	116,544	都道府県支出金	3,919	地方債	0	その他	0	一般財源	24,167	事業費計(A)	144,630	人件費	正社員従事人数	17		延べ業務時間	7,110		人件費計(B)	28,440		トータルコスト(A)+(B)	173,070
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	116,544																												
		都道府県支出金	3,919																												
		地方債	0																												
		その他	0																												
	一般財源	24,167																													
	事業費計(A)	144,630																													
	人件費	正社員従事人数	17																												
	延べ業務時間	7,110																													
	人件費計(B)	28,440																													
	トータルコスト(A)+(B)	173,070																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標														
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)													
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>ワクチン接種の種類(年代等)</td> <td>種類</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>集団接種を実施した日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	ア	ワクチン接種の種類(年代等)	種類	イ	集団接種を実施した日数	日	ウ		
名称		単位												
ア	ワクチン接種の種類(年代等)	種類												
イ	集団接種を実施した日数	日												
ウ														
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	インフルエンザなどと同様に高齢者等を対象として、毎年秋冬に1回の定期接種となるため、当該事業は令和5年度で終了。令和6年度以降は、感染症予防事業で対応する。													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)													
(1)国の規定に基づく接種対象者(市民) (生後6か月以上で接種を希望する人) (2)接種を担う医療機関、接種を受入れる施設等	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>対象となる市民の数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>接種協力医療機関数、高齢者施設等法人数</td> <td>機関</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	カ	対象となる市民の数	人	キ	接種協力医療機関数、高齢者施設等法人数	機関	ク		
名称		単位												
カ	対象となる市民の数	人												
キ	接種協力医療機関数、高齢者施設等法人数	機関												
ク														
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)													
(1)接種機会を提供する。 (2)接種希望者へ円滑、かつ正しく接種を行ってもらう。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>接種率(代表的なもの:人口比)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	サ	接種率(代表的なもの:人口比)	%	シ			ス		
名称		単位												
サ	接種率(代表的なもの:人口比)	%												
シ														
ス														
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	地域医療の充実を図り、市民の生命と健康を守る。													

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度							
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円		55,415	33,938	27,191		
		都道府県支出金	千円			2,888	1,031		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			20,055	4,112		
		事業費計(A)	千円	0	55,415	56,881	32,334	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		5	8	4		
		延べ業務時間	時間		2,450	3,320	1,340		
		人件費計(B)	千円	0	9,800	13,280	5,360	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	65,215	70,161	37,694	0
⑤活動指標	ア	種類		3	7	9			
	イ	日		93	73	24			
	ウ								
⑥対象指標	カ	人		33,948	33,238	32,476			
	キ	機関		27	25	23			
	ク								
⑦成果指標	サ	%		93.4	72.6	35.9			
	シ								
	ス								

事務事業ID	1840	事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
--------	------	-------	-----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<p>令和2年1月に国内初となる新型コロナウイルス感染症の新規感染者が確認。国は、感染症から国民の生命と健康を守るため、予防接種法に基づき実施主体である市町村へ、新型コロナワクチン接種の実施を指示。本市では、令和3年3月18日に県立大船渡病院の医療従事者、同4月21日に市内医療機関の医療従事者、同4月26日に市内高齢者施設の入所者、同5月24日から市内医療機関での個別接種、同5月26日から公共施設での集団接種を開始した。</p>
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 国民の感染予防対策の浸透、重症化しにくいウイルスへの変異等により、感染症初期と比較して、感染症の脅威は薄らいできており、新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月から感染症法上の5類(季節性インフルエンザなどと同じ)に移行した。 ワクチン接種の目的も、「感染を防ぐ」から「重症化を防ぐ」と目的が変わった。 接種率は、令和3年度の初期と比較すると、段階的に低くなっている。(国・県平均よりは高い)
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 接種を希望する人が、円滑に接種できるよう体制の確保をしてほしい。 接種について、判断をできるよう十分な情報提供をしてほしい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 新型コロナワクチン接種は、重症化を予防するため、市民の生命と健康の保持に必要であり、健康づくりの推進に大いに寄与する。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を本市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 本事業による新型コロナワクチン接種は、予防接種法に基づく特例臨時接種として市が実施するものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 本事業による新型コロナワクチン接種は、予防接種法による国の方針に基づくものであり、市が対象を限定・追加できる余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 本事業による新型コロナワクチン接種は、予防接種法に基づく特例臨時接種として実施するものであり、全額公費負担とし、本人の意思を確認してから接種しており、これ以上の成果向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 特例臨時接種として実施している本事業の新型コロナワクチン接種は、令和5年度をもって終了(廃止)するが、令和6年度以降は定期接種に移行して実施することから、影響はない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 令和6年度以降は定期接種に移行することから、本事業は廃止となり、必然的に事業費も皆減となる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 令和6年度以降は定期接種に移行することから、本事業は廃止となり、必然的に人件費も皆減となる。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 国において、予防接種法に基づく特例臨時接種としてワクチン接種に要する費用(財源)の全額を措置し、接種費用を無料としており、適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
3 終了・廃止・休止	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	国の方針に基づき、現行の特例臨時接種は、令和5年度で終了。(本事業は終了)令和6年度以降は、主に高齢者を対象とした定期接種として、感染症予防事業として実施する。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
3 終了・廃止・休止	国の方針に基づき、円滑な接種体制を確保することができた。令和6年度以降は定期接種へ移行することから、引き続き医療機関と連携しながら、感染症予防事業として実施していく。